

令和5年度 第1回岡崎市文化財保存活用地域計画協議会

開催日時：令和6年2月8日（木） 午後2時00分～午後3時00分

開催場所：岡崎市役所西庁舎7階 701号室

出席委員：13名

瀬口哲夫委員（会長）・杉野丞委員（副会長）・島津達雄委員・野本欽也委員・
三浦正幸委員・靱井泰晴委員・河内利弘委員・深田賢之委員・小川裕紀委員代
理・中村耕委員・鈴木洋人委員・根本健一委員・二村雅志委員

欠席委員：2名

八木則行委員・早川久右衛門委員

説明のために出席した事務局職員：5名

社会教育課：田中典子社会教育課長・鈴木幸宏社会教育課副課長・
菅沼貴之岡崎城跡係係長・岡山幸男文化財係係長・武田穂波文化財係主査

傍聴者：なし

議事内容

1 議題

（1） 岡崎市文化財保存活用地域計画の事業進捗について

議題及び議事の要旨

1 報告事項

岡崎市文化財保存活用地域計画の事業進捗について

【社会教育課説明】

岡崎市文化財保存活用地域計画について、令和5年度の事業実績と、令和6年度の事業の取組予定をご報告する。

【質疑応答】

委 員：岡崎城跡について、かつて二の丸跡を発掘調査していたが、継続して城跡に関わる遺構等の調査を行ってほしい。

委 員：資料1の措置「伝統産業」の項目にある、阿知和地区の発掘調査の結果分かったことがあれば教えて欲しい。

また、「継承・支援」の景観形成重点地区内の建造物の外観修景の支援4件について、内訳を聞きたい。

事務局：阿知和地区は現在調査中であり、採石の跡や古墳が見付かっている。

委 員：岡崎城の石垣との関係性は分かりそうか。

事務局：現状では分かりかねる部分がある。

景観形成重点地区内の建造物の外観修景の支援については、藤川地区で2件、八帖地区で2件実施しており、外壁塗装や門・フェンスの取替を行った。

委 員：旧額田郡公会堂及物産陳列所の看守人室の曳家の実施設計を行っているが、看守人室の保存状態はあまり良好ではない。修理の道筋を立て、曳家して多くの方に見て頂ける形にしたいと考えている。

委 員：現在の基礎はコンクリートだが、変更する予定はあるか。当初の基礎はレンガ

造だったのではないか。

委員：当初の基礎を古写真から確認する事は難しい。現在の基礎での修理を予定している。

委員：旧額田郡公会堂及物産陳列所の同一敷地内に、臥雲辰致の記念碑があるが、草木の手入れが行き届いていないように見受けられる。管轄部局に、公会堂周辺の適切な管理をお願い頂きたい。

事務局：先日担当部署に枯れ木の伐採を依頼し、対応して頂いた。今後も連携し、適切な管理を行う。

委員：旧額田郡公会堂及物産陳列所を、将来的に郷土館として再度活用する予定はあるか。活用案を伺いたい。

また、古文書の寄贈を打診されている方がいるため、ご対応いただきたい。

事務局：旧額田郡公会堂及物産陳列所については、保存活用計画に則り事業を進めている。計画内では活用案を貸館・資料館としており、今年度は活用案の具体化に向けサウンディング調査等を行った。今後も頂いたご意見をふまえ、活用案の具体化を図る予定である。

古文書については、機会を捉えて拝見したい。

委員：公会堂を郷土館のような形で活用する事は難しいか。

事務局：保存活用計画において、公会堂内部の環境が史料の展示公開に適さないため、郷土館のような形で活用は難しいという結論となった。

委員：岡崎市には岡崎の歴史の全体像を把握できるような常設の博物館が無い。公会堂が何かに特化した展示施設になるのであれば、何を展示するか議論を重ねて欲しい。

委員：本宿のアウトレットモールで岡崎の歴史文化を紹介する事はできないか。
豊橋市は駅で鬼祭りの展示を行っている。祭礼の際に駅や商業施設で周知ができると良い。

委員：資料1の「調査・指定・登録の推進」について。岡崎市には古建築が多く残っているため、調査を推進して欲しい。岡崎城及び家康関係に限定した場合でも、候補が複数挙げられる。

菅生神社の慰霊社という建物は、おそらく菅生神社の旧本殿で17世紀の物と思われる。信光明寺の唐門は慶長期のものであると考えているが、調査が行われていない。舘播神社の門は、岡崎城から移築したと伝えられているが、16世紀に遡るものであると考えている。是非調査して欲しい。

事務局：ご指摘いただいた建造物について、状況を確認したい。

委員：調査計画を組み、予算化して調査を行いながら価値を実証し、上位指定を目指して欲しい。保護審議会としても積極的に関与したい。

資料2の「木造日光月光菩薩立像」は、市指定文化財が県指定を経ずに国の重要文化財になったものと聞いているが、経緯を教えて欲しい。

事務局：文化庁調査官より「木造十二神将立像」の調査のご希望があり、その折に「木造日光月光菩薩立像」も調査され、価値が高いためどちらも国指定にする旨のお話があり、重要文化財の指定に至った。

委員：市指定の案件について、文化庁調査官の所見があれば県指定を経ず国指定に

なり得ることがある。

委員：積極的な調査を進めて欲しい。愛知県から意見はあるか。

委員：国指定については、文化庁調査官の所見により県指定を経ず国指定になる場合がある。県指定についても、市指定を経ず県指定にするか審議会で若干議論を行っている。市町村の自治体の規模や状況によっては、市町村で指定を図ることが難しい場合もあるため、市指定を経ず県指定を行う場合がある。

委員：岡崎の歴史の全体像を把握できるような博物館ができると良い。措置は計画通り進捗していると思われるが、全国的にも文化財の活用が課題になっているため、そうした状況を加味して事業を推進して頂けると良い。

事務局：公民連携により、岡崎市全体で文化財を守る取り組みを進めたい。

委員：地域計画作成の折は社会教育課長であり、事業進捗を感慨深く伺っていた。社会文化部では岡崎城を管理している。岡崎城跡係と連携して文化財の保護や周知をしながら事業を行いたいと考えている。

委員：商工労政課が実施した旧本多忠次邸のプロジェクションマッピングでは、近隣の学生さんとコラボレーションして事業を実施した。若者を育て、文化財の価値を伝える取り組みを続けていきたいと考えている。また、旧本多忠次邸について、フィルムコミッションによりロケを行った映画が公開されている。予告編に本多邸が映っているため、ご覧いただきたい。

昨年大河公開の折は非常に力を入れた事業展開を図ったが、今後も歴史観光に力を入れて行きたいと考えている。文化財も含めた観光により、地域経済の活性化を図りたい。

委員：都市政策部では岡崎市歴史的風致維持向上計画や岡崎市景観計画を所管しており、岡崎市文化財保存活用地域計画と強い関係性を持っている。

歴史的風致維持向上計画の第二期計画の作成を予定しており、委員の先生方や社会教育課にご相談することが多々あると思われる。また、歴史的風致維持向上計画内の事業として、歴史PR動画を例年作成しており、来年度は瀧山寺鬼祭りのPR動画を作成する予定である。

委員：文化財の保存活用に関して、日頃からご助言を賜り感謝申し上げます。資料に記載の無い内容ではあるが、岩津城跡について、市指定文化財の指定に向けた取組を進めている。また、菅生神社、信光明寺、舘播神社については、事務局と共に現地を確認したいと考えている。杉野委員よりお話のあった調査計画についても、委員の皆様にご相談しながら作成を検討したい。

委員：各部局が連携を図りつつ事業を行っている事が分かり有難いと感じている。

委員：常設の博物館についてのご意見があったが、併せて博物館の展示に繋がるような日々の調査として、令和版の市史の編纂に向けた取組を進めて欲しい。

委員：発掘調査の成果を市民が見る機会が無い。発掘調査の推進と併せて、調査結果を展示し市民に見えるようにして欲しい。

委員：祭礼行事の担い手がなくなっている。額田地区の無形民俗文化財の再度の精査を行ってほしい。情報を集め、価値付けと継続への支援を行って欲しい。

委員：無形文化財は、生活の変容などにより変質や滅失が進んでいる。また、社寺や城郭関係の建造物の研究者が少なくなっているなど、研究上も構造的な

変化が起きている。こうした変化により、調べるスピードと調べる人員にギャップが出てきていると感じている。

調査予定の物件を記録しておき、計画改定時に計画へ反映すると良い。また、令和の市史編纂等を積み重ねて資料を集め、機会を捉えて博物館を整備するというご意見も卓見である。計画に記載された事業はしっかりと行われていると感じたが、本日の協議会ではより大きい視点からご意見を頂いた。今後の文化財の保存活用に活かして頂きたいと思う。

岡崎市文化財保存活用地域計画の事業については、本日の議事を踏まえて進捗するという事でよろしいか。

委員：異議なし。

2 その他

次回の協議会は来年度に開催予定である。